

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分  
 【発行日】平成 21 年 3 月 5 日 (2009.3.5)

【公開番号】特開 2007-196582 (P2007-196582A)  
 【公開日】平成 19 年 8 月 9 日 (2007.8.9)  
 【年通号数】公開・登録公報 2007-030  
 【出願番号】特願 2006-19598 (P2006-19598)  
 【国際特許分類】

**B 4 1 J 29/13 (2006.01)**

**B 6 5 H 31/00 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 J 29/12 A

B 4 1 J 29/12 B

B 6 5 H 31/00 B

【手続補正書】  
 【提出日】平成 21 年 1 月 20 日 (2009.1.20)  
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

記録装置本体の前面に記録後の被記録媒体を排出するための排出スタッカが開閉可能に設けられて成る記録装置であって、

排出スタッカ開放ボタンを開操作することによって前記排出スタッカが開状態に移行するように構成されている排出スタッカ開放機構を備え、

前記排出スタッカ開放機構は、

上下方向へ移動可能に配設され、上部に前記排出スタッカ開放ボタンが形成されているボタン構成部材と、

前記ボタン構成部材を上方へ付勢する付勢部材と、

前記ボタン構成部材の上下方向への移動に連動して前後方向に摺動する摺動部材と、

前記摺動部材の前後方向への摺動に連動して回転する開放作用アームと、

前記排出スタッカの閉鎖時に、前記排出スタッカに設けられた磁性部材との間に作用する吸着力により前記排出スタッカの閉鎖状態を維持するための磁石と、を有し、

前記排出スタッカ開放ボタンの開操作によって、閉鎖状態にある前記排出スタッカを前記開放作用アームが開放方向へ押動するように前記開放作用アームが回転する、ことを特徴とする記録装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、前記排出スタッカ開放ボタンは、前記記録装置本体の前記前面と異なる他面に設けられていると共に、開閉可能なカバー体で覆われており、該カバー体を開けることで当該排出スタッカ開放ボタンの開操作を行えるように構成されていることを特徴とする記録装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 において、前記排出スタッカ開放ボタンは、電源スイッチやその他の各種操作ボタン等が配設される操作パネルに設けられ、前記カバー体は該操作パネルを全て覆う構造に形成されていることを特徴とする記録装置。

【請求項 4】

請求項 1 から 3 のいずれか 1 項において、当該記録装置はモバイルタイプのものであり、持ち運び用のハンドルを備えていることを特徴とする記録装置。

【請求項 5】

請求項 1 から 4 のいずれか 1 項において、前記排出スタッカ開放ボタンを開操作する動作がトリガーになって被記録媒体の給送および / 又は記録の実行が行えるように構成されていることを特徴とする記録装置。

【請求項 6】

請求項 1 から 5 のいずれか 1 項において、前記排出スタッカは、手で直接開けるための開閉操作部を有しない形状であると共に、閉状態における露呈面は記録装置本体の外面と面一に形成されている、ことを特徴とする記録装置。